



仲間をつなぐ思いやりの心

～ 温もりに満ちた学校へ～

校長室だより 4月号
2025. 4. 28
<不撓不屈の芦中生>
・思いやりと温かな心
・言葉で伝え心で聴く
・自ら主体的に行動

動き始めた

スタート

「なりたい自分」を目指す日々

新しいメンバーで始まった令和7年度。この1か月、みなさんはどのように過ごしてきましたか？

新しくなったのは、周りのメンバーだけではありません。みなさんはそれぞれに、この4月を迎えるにあたっての自分なりの思いをもって、新しい教室に入ってきたことと思います。人それぞれ、内容や大きさは



違うかもしれませんが、新しい学年になった事を機会に、「よし、これを頑張ろう」「これだけは頑張りたい」「これを

できるようにになりたいな」などの気持ちが、皆さんの心に宿っているのではないのでしょうか。この気持ちこそが、みなさんの「決心」です。2、3年生は、昨年度の3学期を、今年度の0学期と位置づけ、この4月のスタートラインを見据えた意識づくりを行ってきました。1年生も、学校が変わるといっても大きな節目に向けていろいろと準備をしてきたこと

でしょう。この4月に、気持ちを新たに、前向きに頑張ろうという気持ち、今年度の「決心」を忘れることなく、「なりたい自分」に向かって努力していきましょう。みんなで支え合って、応援し合って、共に努力できる。そんな芦城中学校の仲間たちであってほしいと思います。



朝の挨拶が

とても素晴らしいです

新学期が始まってから、朝の生徒玄関に、気持ちの良い元気な挨拶が響いています。毎朝天候を問わず、とても晴れやかで、温かい気持ちになります。

私が2年前から朝の玄関で思っているのは、「芦中



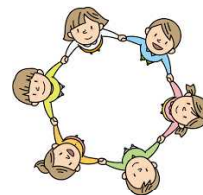
の生徒は、相手を見てしっかりと挨拶ができる。素晴らしい！」ということです。大きな声で挨拶を交わすと、本当に元気がでます。大きな声じゃなくても、挨拶に答えて頭を下げていく人もいます。気持ちが伝わり、とてもうれしくなります。芦中の良き伝統である「気持ちの通い合う挨拶」を今後も続けていきましょう。

令和7年度生徒会目標

つなぐ

～ 仁の輪を全校に ～

先日の生徒集会で生徒会から説明がありましたね。全校生徒が「仁」の心でつながろうという素敵な目標です。「仁」とは、思いやりや優しさのこと。私の取り組んでいる剣道では、「相手の立場になって物事を考える慈愛(じあい)の心」とされています。芦中生全員が、思いやりや相手の立場になる優しさの輪でつながれることを願っています。



(この校長室だよりの題名もここから取りました)